



三条北ロータリークラブ週報

ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に

例 会 日
1998. 3 . 10
累 計 No 551
当 年 No 34

国際ロータリー会長 グレン W. キンロス 第2560地区ガバナー 久保田昭治

会 長／米 山 忠 俊
幹 事／吉 川 吉 彦
SAA／長谷川博一

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行 事： 卓話「どうなる日本の農業」木宮 隆会員

出 席： 本日の出席 56名中 44名

先々週の出席率 55名中 55名 100% (前年同期 82.14%)

先週のメークアップ： 3月5日 見附RCへ 淵岡 茂さん

8日 桐生赤城RC認証状伝達式参加 米山忠俊さん、佐藤義英さん

9日 三条南RCへ 中條耕二さん

ビ ジ タ ー： 三条RCより 丸山行彦さん、橘直樹さん

会 長 挨 拶： 米山忠俊

こんにちは、ヴィジターの皆様本日はようこそ、

どうぞゆっくりとお過ごし頂きたいと思います。

昨日の8日(日)に佐藤義英副会長と一緒に群馬県桐生市の桐生赤城ロータリークラブの認証状伝達式に出席してお祝いを申し上げて参りました。

バナーの交換もして、有意義な1日を過ごして来ました。

新クラブ桐生赤城ロータリークラブを少し紹介します。

チャーターメンバー40名のスタートで、日本で2240番目のクラブとしてこの2560地区の95番目に出来たクラブです。当地、桐生市での5番目のロータリークラブが誕生しました。駅から会場へのタクシーの中で、運転手の方から聞いた話では14万人の人口が、町に仕事が減るに従い流出して人口が減っているそうです。今は、どこでも産業構造が変わり経済問題、社会問題があり大変な時代です。仕事がなく、人口が減少しているとの話に、寂しい気持ちになりましたがそんな中、桐生市に5番目の新しいロータリークラブを造られたという事は、この地域のロータリアンが地域の為によくがんばられていると感激して、帰って来ました。

帰りの列車の中で佐藤副会長さんが、我が北クラブのチャーターナイトはどうであったかなあと、12年前の事を振り返りその時の話を語りながら、我がクラブでの当時のチャーターメンバーを

思い浮かべ懐かしさに浸り、三条に帰って来ました。

又今日は、吉川幹事さんが今年始めて例会を欠席されましたので次年度幹事の梨木さんがピンチヒッターされます。私とのデコボココンビの本日の例会、宜しくお願い致します。

幹事報告： 梨木次年度幹事

- ・らいふすていしょんより 賛助会員募集のお願い
- ・三条市教育委員会より 卒業進級を祝う会参加の御礼
- ・ガバナー久保田昭治より 財団セミナー出席の御礼と地区目標額達成のお願い
- ・新津RCより 第45回県下ロータリークラブ親睦ゴルフ大会のご案内

日時 平成10年5月14日（木）午前8時スタート

場所 新津カントリークラブ

申し込み締め切り 4月20日（月）

委員会報告：

親睦委員会

- ・4月14日の夫人同伴夜例会のお知らせ

職業奉仕委員会

- ・3月24日の職場例会のお知らせ

ロータリー情報委員会

- ・新入会員3名のオリエンテーション開催

3月17日 6:00～おゝの

ニコニコボックス： 10日現在累計 1,052,000円

阿部誠一郎君 急死した母の告別式に出席いただきまして誠に有難うございました。亡き母も皆様に感謝していることと思います。こんごとも宜しく御願います。

樋口金占君 木宮さん卓話御苦労様です。

梨本清一君 日本の農業は今どん底であえいでいます。木宮さん。あなたのお力で是非々々救いの手をさしのべて下さい。お願いします。

堀川正幸君 木宮さんの卓話が楽しみです。時間が短かいので不満でしょうが、私達にもわかるようにやさしく、要領良くお願いします。

平松利朗君 日本の農業の将来は自然環境の保護にもつながると思います。木宮さんのご高説をじっくりと聞かせて下さい。。

長谷川恵慈君 木宮さん卓話ご苦労様です。時間内でお願いします。

本間建雄美君 本日の卓話「どうなる日本の農業」宜しくお願いします。

中條耕二君 木宮さんの卓話に期待して。

害が内包されています。唯一の自給作物でありかつ主食であるが故の我々の米への愛着、歴史的な土地制度と深く結びついた独特の農村の社会構造、さらには相続税や固定資産税などに見られる特例措置等克服すべき難問が山積しています。

金融ビッグバンが完全に実施されれば日本の金融市場は世界に開かれ活況を呈することでしょう。しかし、その一方で英国同様、これまで古い体制下で既得権で守られていた多くの民族資本が外資の攻勢にさらされ倒産や統廃合を余儀なくされることでしょう。改革はその代償として“痛み”を伴うのです。

日本の農業人口は目下400万人。専業農家はその1%にしかすぎません。ほとんどが兼業農家、いわゆる“二足の草鞋”を履く人達です。

又、200万人以上の農家は60歳を越えており、日本の農村はすでに超高齢化社会として21世紀を10年以上も先取りしている現状なのです。

さらに農家3人に1人という農協職員の多さも問題です。農協・経済連・全農・さらにその上部組織としての政府系金融機関（住専問題で悪名を天下にとどろかせた）と続くヒエラルキーは官僚の天下り組織として肥大しきっているのです。ウルグアイラウンド受け入れの代償として政府は4年前に6兆100億円もの補助金をつけましたが、それらが農業の近代化とはうらはらに既得権者の延命資金にしかっていないとしたら……

日本の農業は今まさにビッグバン……構造的大変革を迎えようとしています。しかし、その導火線に火をつけるのは政府ではなく農家の“ヤル気”ではないでしょうか。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

3月17日例会： 外部卓話「ロータリーも処かわれば品かわる」 鈴木宗資様

3月24日例会： 職場例会 榊柄長様訪問

3月31日例会： 外部卓話「世界戦略にける果敢なる挑戦」 高波久雄様

4月7日例会： ロータリー雑誌月間

4月14日例会： 夫人同伴夜例会 於三条市総合福祉センター

4月21日例会： 卓話 丸山誠一会員

4月28日例会： 会長エレクト研修会報告 落合会長エレクト